

2022年11月21日

三田市長
森 哲 男 様

日本労働組
兵庫県連合
協議会
議
副議長
(三田地域担

要 請 書

貴職におかれましては、長引くコロナ禍にあって難しい舵取りが迫られる中、市民の安全確保と生活の安心確保に向け、日々力を尽くされておりますことと、敬意を表します。

私たち勤労者を取り巻く状況は、従前から抱えている非正規雇用の増加、中間取得者の地盤沈下、貧困の固定化、格差の深刻化といった課題が、コロナの感染拡大による経済への影響なども加わり、深刻さを増すこととなりました。

このような状況を鑑み、私たち連合兵庫東部地域協議会は、「コロナ禍を克服し、不確実な環境変化にも適応した包摂的で持続可能な社会、市民の誰もが将来に希望の持てる社会」の実現をめざすことこそが重要であるとの認識を一層深めているところです。

この度、三田市への政策・制度要請は、連合兵庫が兵庫県に対して幅広い視点から要請していますが、「地域が主体となる課題は地域で取り組む」といった連合兵庫の方針を受け、東部地域協議会として、以下の内容を要請します。

貴職におかれましては、本要請の趣旨をご賢察のうえ、ご対応頂きますようよう、お願い申し上げます。

具体的な要請項目

〈経済政策〉

経済・産業政策と雇用政策の一体的推進および地域活性化への支援

- ① 大都市一極集中による弊害の是正に向けて、地域の特性を活かしたまちづくりを推進することで、知識・産業集積等地域産業の活性化による地域雇用の増大をはかる。そのために、核となる企業への支援を行い、地域内・地域間の連携を強化して、地域産業としての国際競争力を高めること。

〈福祉・社会保障政策〉

切れ目のない医療を提供する体制の確立

- ② 地域で必要な医療を受けられない事態を生じさせないよう、機能分化の推進にあたっては、急性期を脱した患者への医療や、高齢者の容体急変時の医療などを担う病床を確保するとともに、在宅医療や訪問看護を拡充する。また、人口構造の変化を考慮した効率的な医療提供体制を構築するとともに、高度な医療機器については医療機関間の共同利用を促進すること。

- ③ 三田市及び、北神地域における地域医療再編が進められており、現三田市民病院と現済生会病院の統合が進められているところである。統合の後も旧三田市民病院を住民にとっての「身近な地域医療支援病院」として機能させ、これまでと同様の「かかりつけ医」との連携を含めた、適切な医療の提供・運用を行うこと。

〈交通・運輸政策〉

持続可能で安心・安全な社会資本整備の推進

- ④ 「交通政策基本計画」を着実に実行し、経済・社会の変化に的確に対応するとともに、国民生活や経済活動を支える社会基盤として、持続可能で強い交通・運輸体系を構築する。交通・運輸を担う人材の計画的な確保に向けて、資格・免許などの技術・技能の習得などの人材育成や同産業への就業を支援すること。
- ⑤ 第二テクノパークにおいては、雇用促進のために企業誘致がすすめられているが、労働人口が増えるにあたり、日常的に発生している周辺の交通渋滞解消に向けて、公共交通機関の充実などの対策を講じること。また、将来に向けてのテクノパークやその周辺への企業誘致等を進める際は、通勤・退勤時、物流による交通量などに対応した道路、公共交通機関等のインフラ整備を考慮した計画の下で開発を進めること。

〈防災・減災に関する政策〉

総合的な防災・減災対策の充実

- ⑥ 大規模自然災害発生時において、緊急速報メールなどプッシュ型配信の普及を強力に進めるとともに、労働者の安全を確保するため、事業活動を休止する基準を設定するなどの仕組みを構築し、住民にその内容を周知すること。
- また、地域防災計画や避難所の感染症対策を強化した避難計画の策定、備蓄品などについて、多様な人の意見を反映し、安全な避難行動ができるよう防災・減災対策を徹底すること。

〈教育政策〉

教育の機会均等の保証と教職員の働き方改革を通じた質の向上

- ⑦ (1) 慢性的に欠員が生じている「教職員不足」を早急に解消すること。
- (2) GIGAスクール構想など教育のICT化に向けて、以下の対応を進めること。
- a) 接続環境は、社会インフラとして、同時アクセスに耐えうる高速大容量ネットワークを早期に整備すること。あわせて、家庭における接続環境の違いへ配慮すること。
- b) ICT支援員をすべての学校に常勤配置すること。あわせて、GIGAスクール運営支援センターを早急に整備すること。
- c) 国や自治体により、ソフトウェア費、保守・機器更新費などの予算化を行うことと、1人1台端末の整備対象を高校生まで拡大すること。